

令和8年4月30日(木)

校長室の窓から 新学期、1か月が過ぎました！



令和8年度有浦小学校の新しい航海が始まって、気が付けば、あっという間に1か月が過ぎました。大変遅くなりましたが、昨年度に引き続き、今年度も本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、いきなり、校長通信を発行して、驚かれる保護者の皆様もいらっしゃると思いますが、前任校では学校便りに掲載をしておりました。ただ、本校は紙媒体で配布すると大量の紙を消費することから遠慮しておりましたが、昨年度途中からTetoruの配信が始まりましたので、新年度を機に校長通信を配信することとしました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、この3週間の子供達の様子ですが、新1年生は、勉強が少しずつ始まり、ようやく小学生らしくなってきたところです。子供たちも、そして保護者の方々もまだ不安なことが多いと思います。不安が解消されるまでは一緒に登校したり声かけをしてあげたりしていただければと思います。2年生以上の子供達は、一人一人反応が違ってくるように思えます。クラス替えや担任の先生が替わって「心機一転」という子もいます。子供達にとって「進級すること」は、私たち教師が指導するよりも、心の成長を促す効果があるのだなと実感させられます。私たち大人は、つい、子供達にお世話を焼きがちですが、時には子供達の自ら成長しようとする力に任せてみることも必要なのだと思います。

今年度の学校経営の重点について

4月18日のPTA総会でも説明いたしましたが、令和8年度の学校経営の重点について、総会においてになれなかった保護者の方向けに話したいと思います。

(1) 児童会テーマについて

「チーム有浦 ～夢に向かってはばたけ～」となりました。学校経営のグランドデザインにも取り入れ、教師も同じ目的を持って教育活動を行っていきたいと思います。

(2) 「Well-being」な学校づくりを進化させる

①身に付けさせたい資質・能力について

【子供たちに身に付けさせたい4つのコンピテンシー】

Ⅱ 育成するコンピテンシー			
学ぶ力	知的好奇心をもち、知識やスキル、見方・考え方を獲得して活用する力。	あり 思いを熱く語る 理想 をかかげる ハピ 幸せを追求する 心 に灯をともし	多様性を認め、その協同から相乗効果を生み出すこと 創発力で、新たな価値を得る力。
自己調整力	目標を決めて、その実現のためにねばり強く努力する。自分をコントロールする力。		相手を尊重して正しく聞き、自分の考えを表現する力。 コミュニケーション力

昨年度、学校の目指すべきこととして「Well-beingな学校」づくりを掲げました。「Well-being」とは、簡単に言えば「心も体も満たされた状態＝幸せ」のことです。「Well-beingな学校づくり」を目指す過程で、子供たちに身に付けてほしい

い力（コンピテンシー）を、「学ぶ力」「コミュニケーション力」「自己調整力」とし、今年度新たに「創発力」という言葉を入れました。聞き慣れない言葉だと思いますが、個人で何かを創ることは「創造力」ですが、それに対して互いの違いを理解して、その上でみんなで協同して新しい価値を創り上げる力を「創発力」というのだそうです。大人になって更に求められる力であると思います。

4つのコンピテンシーの間にある「思いを熱く語る 理想をかかげる 幸せを追求する 心に灯をともし」は、私たち教師に求められる態度や姿勢を表しています。教師としてかくありたいものです。

②「Well-beingな学校」を持続可能にするための17の実践目標「ありハピ17」

「Well-beingな学校づくり」を目標に掲げて、幸せな学校がすぐにできる訳ではありません。また、幸せは、教師や保護者に与えられるものではなく、子ども達が自分で獲得していくものだと思います。その幸せを創るためには、子ども達が自分たちにはどんな課題があるのかを自覚し、それらを解決していくための継続的な取組が必要です。昨年度の児童総会で自分たちの解決すべき課題について話し合い、それらをサミットリーダーがまとめたものが、下の「ありハピ17」です。

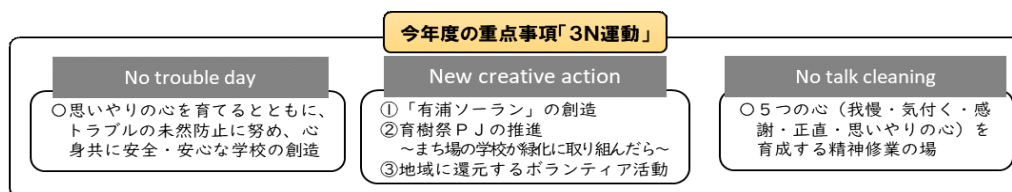
様々な教育活動の場面で、子ども達がこの「ありハピ17」を意識して取り組むことで、自らの成長を感じるとともに、その上にある「Well-beingな学校づくり」に積極的に参画してくれることを期待しています。

有浦小が幸せな学校であり続けるための17の実践目標



③「3N運動」の推進

「3N運動」とは、大きな3つの活動の頭文字です。私の名前の頭文字が「N」なので、そうした訳ではありません…。



「No trouble day」と「No talk cleaning」は昨年度から始めています。「No」という言葉から、ちょっと高圧的な感じを受けられるかもしれませんが、自分たちの行動を「自己調整力」を働かせて行うことを狙ったものです。「〇〇するな」の裏の意味にある「思いやりの心を育てる」「無言清掃で5つの心を育てる」ことを考えています。どうかご理解をお願いいたします。

3つ目の「New creative action」は、今年が目玉です。6年生は、これから「有浦ソーラン」づくりにチャレンジします。「有浦には有浦ソーランがあるよね」と語り継がれ伝統となるような新たな取組です。6年生にご期待ください！